

## 第九集の刊行にあたって

## 研究の経過

## 事 例

1. 動きは活発だがまとまりに欠ける一児童とのかかわりにまとまりをつくる試み  
あらまきこどものへや  
角 田 夏 江 ..... 1  
コメント ..... 9
2. 自己中心的傾向のある重複障害児の行動の広がりとそのまとまりについて  
横浜市立本郷養護学校  
上 浦 孝 雄 ..... 13  
コメント ..... 22
3. 自発的行動の乏しい重度・重複障害児の動きの拡大と移動能力の改善について  
聖マリア養護学校  
松 村 俊 彦 ..... 26  
コメント ..... 33
4. 情緒障害対象の院内学級にいる子どもの課題学習にみる動きとそのまとまり  
—— 特に外界刺激の受容の高次化を中心に ——  
札幌市立平岸中学校静療院分教室  
高 橋 渉 ..... 36  
コメント ..... 44
5. あるダウン症高校生が環境との間に新たな意味・まとまりを発見し発現していく経過  
京都教育大学附属養護学校  
高 乗 れい子 ..... 48  
コメント ..... 60
6. 体験の乏しさが目立つ発達遅滞幼児の動きとそのまとまり  
—— 行動の広がり の 基盤 となるもの ——  
国立久里浜養護学校  
遠 山 文 吉 ..... 64  
コメント ..... 73
7. 行動障害をもつ幼児の要求行動における動きとそのまとまり  
重複障害教育研究部  
久 田 信 行 ..... 77  
討 論 ..... 92

編集を終えて